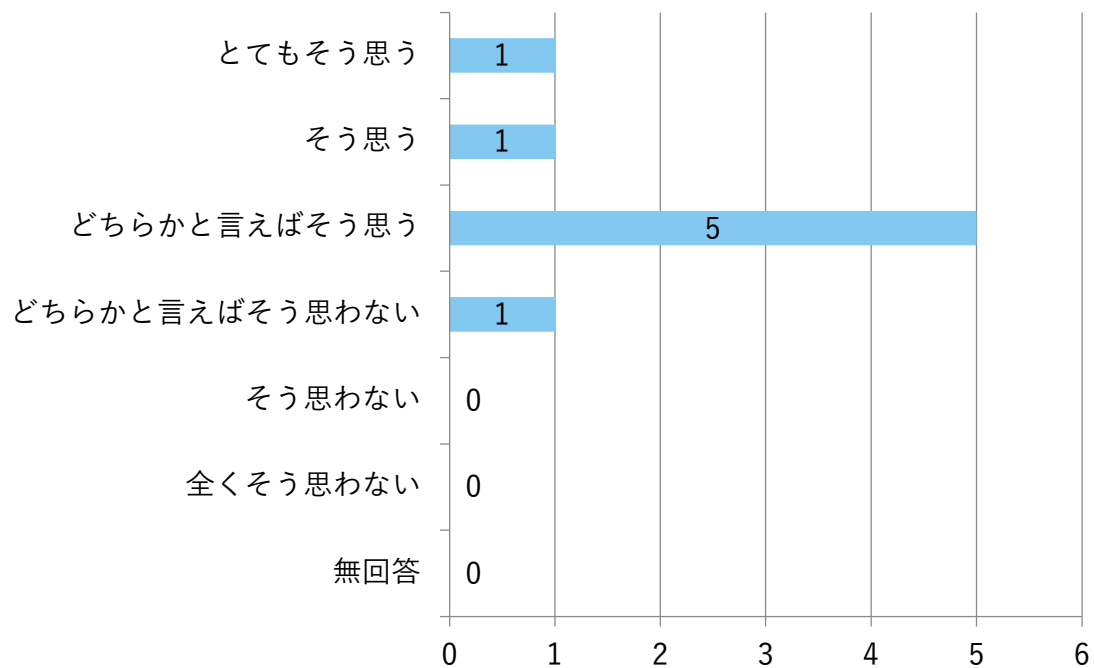
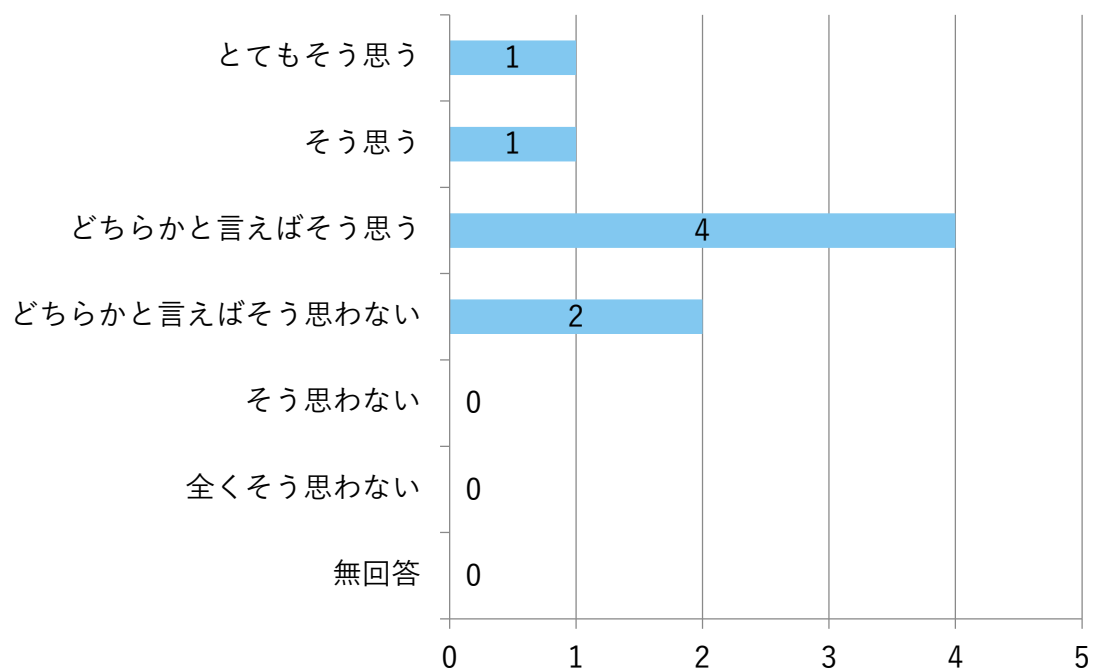


2023 年度実施 検査技術学専攻 卒後 3 年大学評価アンケート
(卒業生数 35 名、回答者数 8 名、回答率 22.9%)

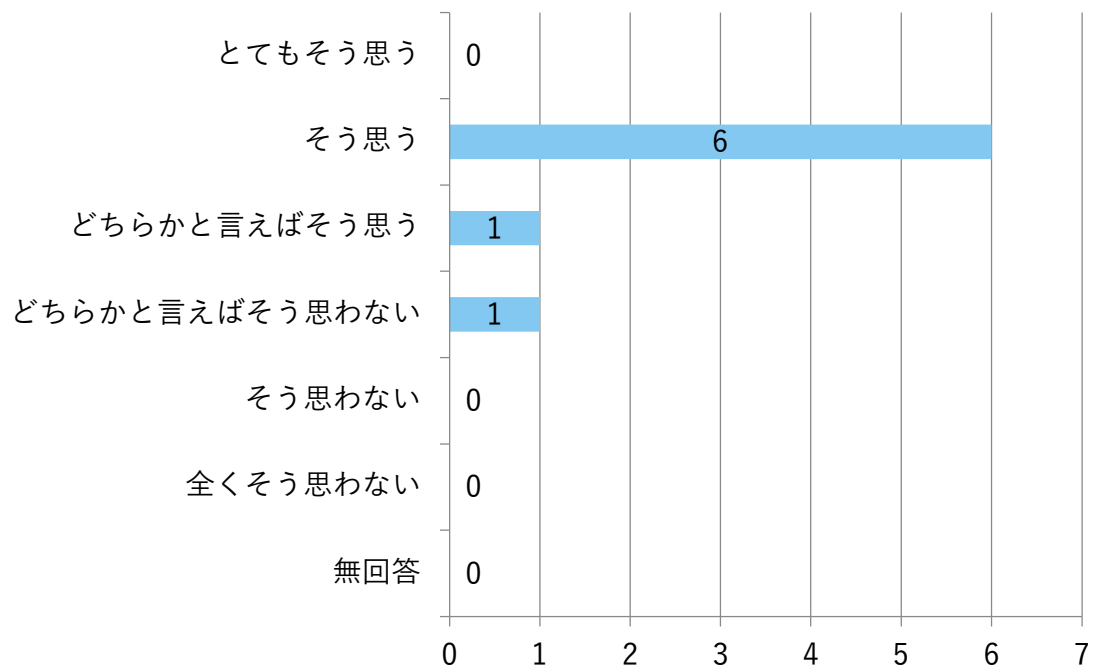
検査技術学・臨床検査の基礎から応用に至る高い専門知識と技
術が身についている



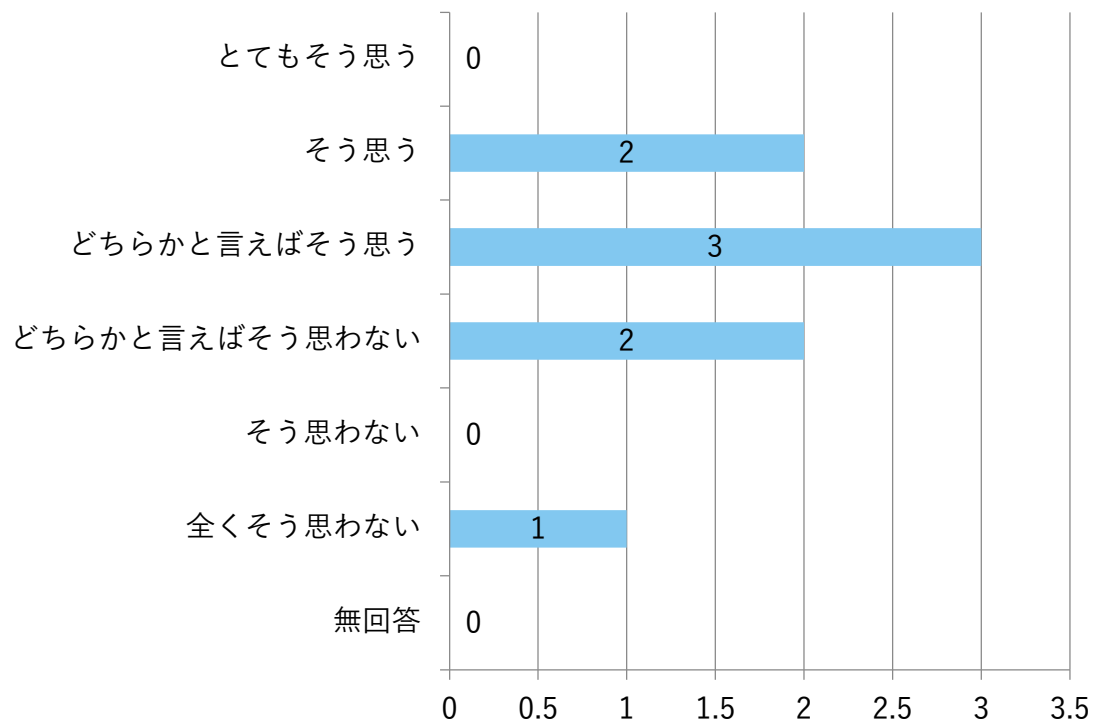
検査技術学・臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指し
て自己学習を継続する能力が身についている



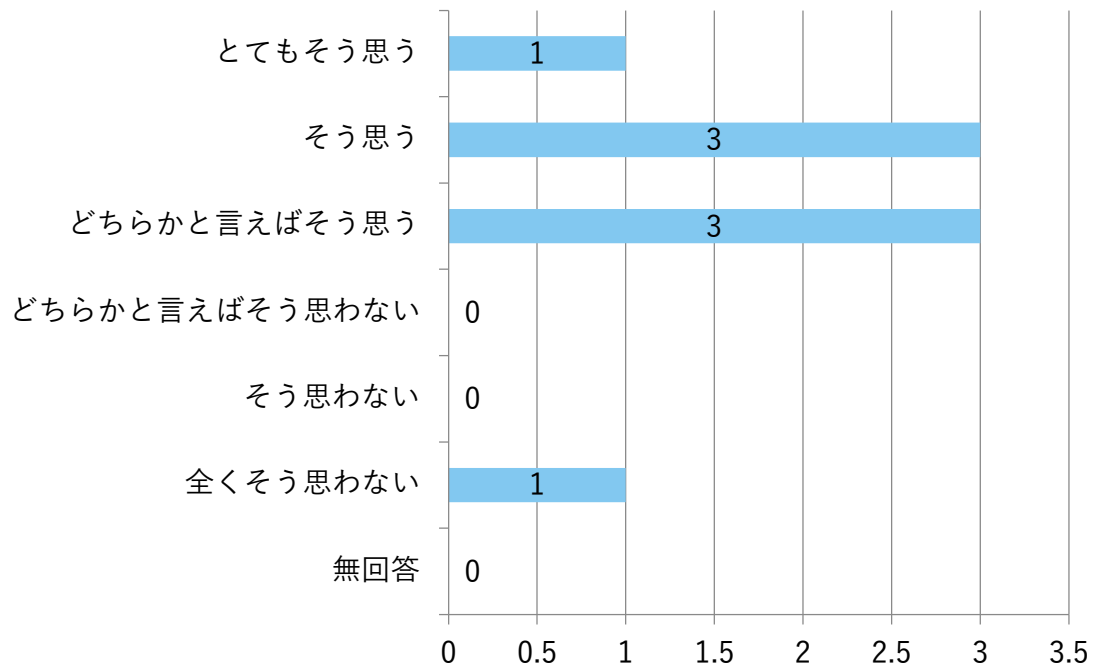
自分が関わる状況で問題を的確に見出し解決に向かうための能力が身についている



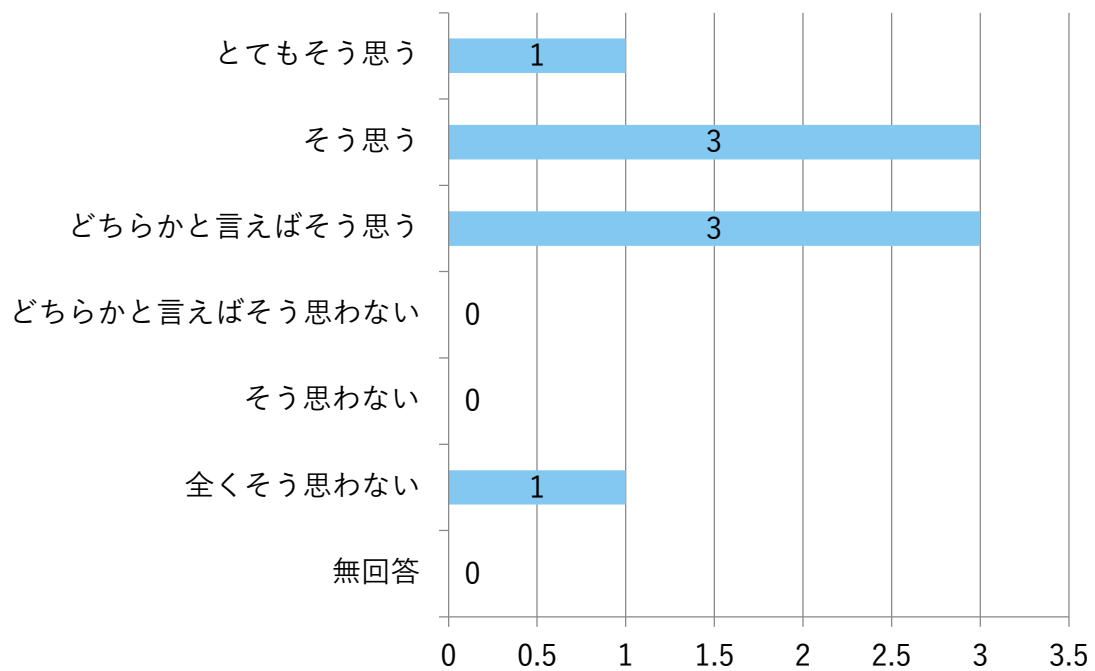
他の職種との連携能力が身についている



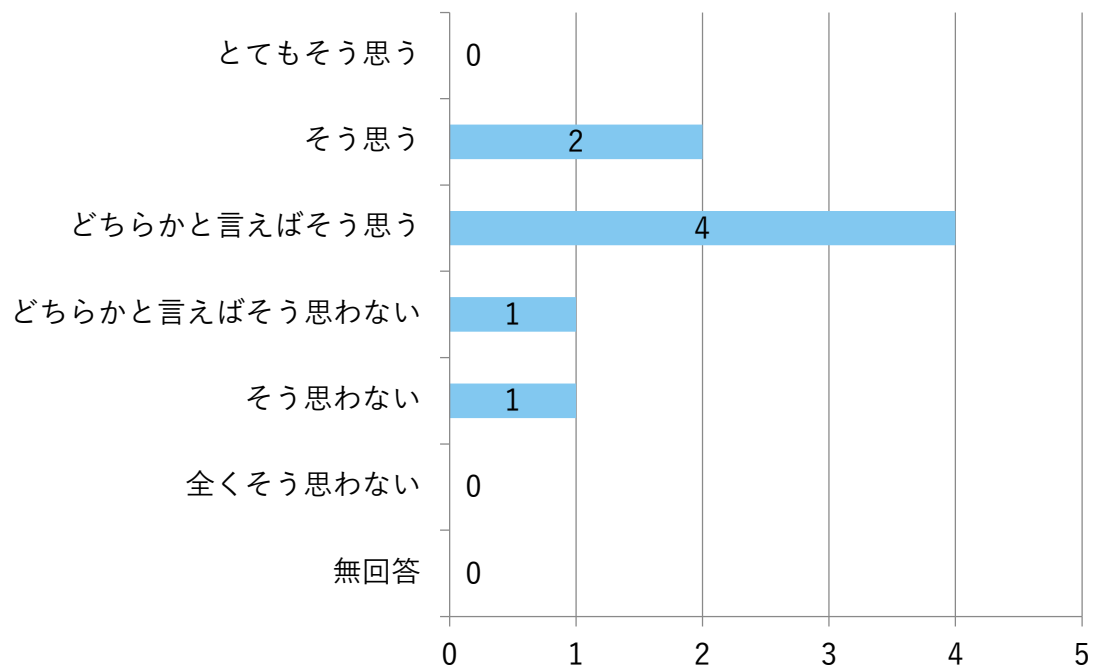
検査技術学・臨床検査の分野において実践・教育・研究・開発活動等を進展させていくことができる創造性が身についている



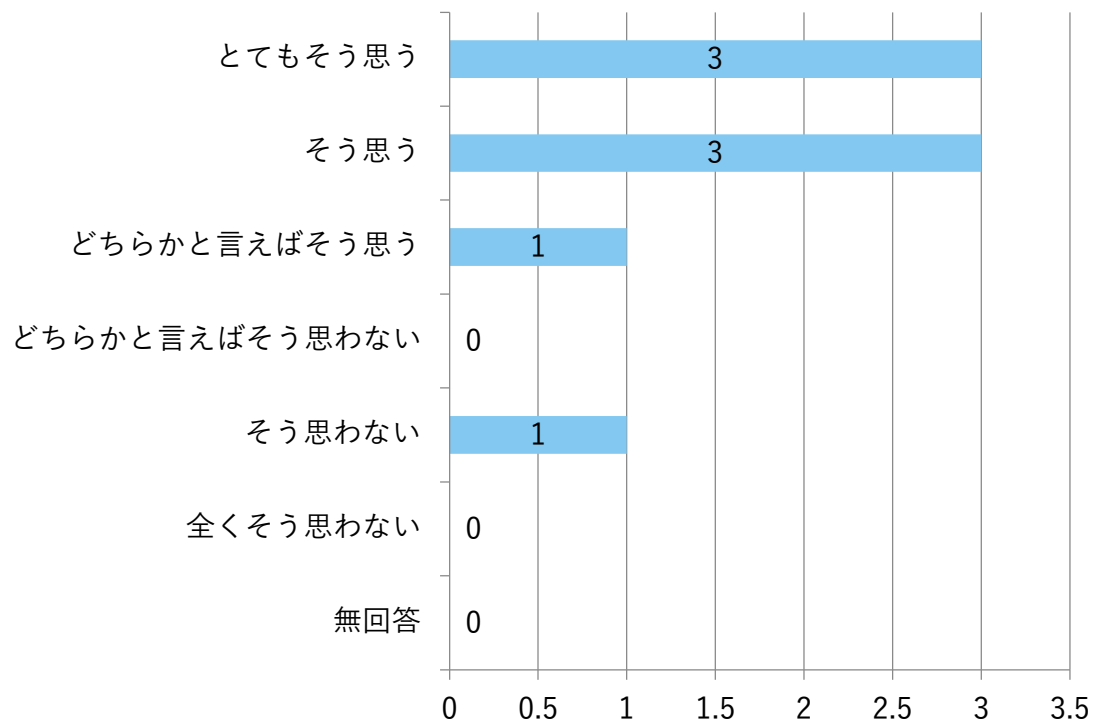
新しい臨床検査技術の開発や関連分野における独創的研究の基礎となる、科学的な思考法が身についている



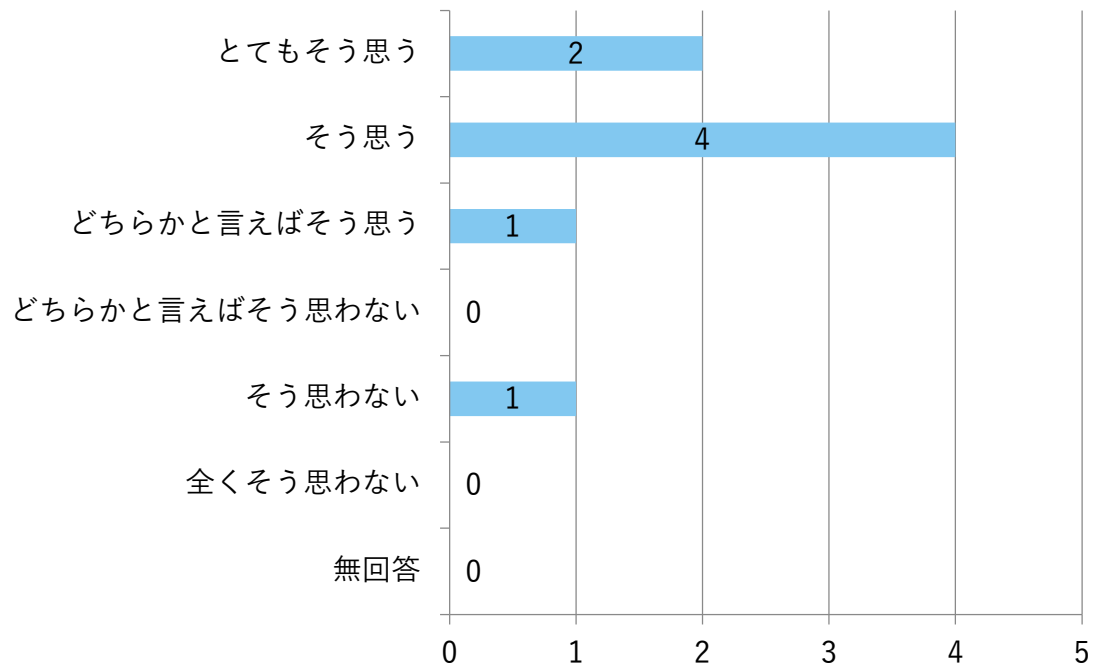
検査技術学・臨床検査の分野において国際情勢に関心を示し、
国際貢献に関与できる力が身についている



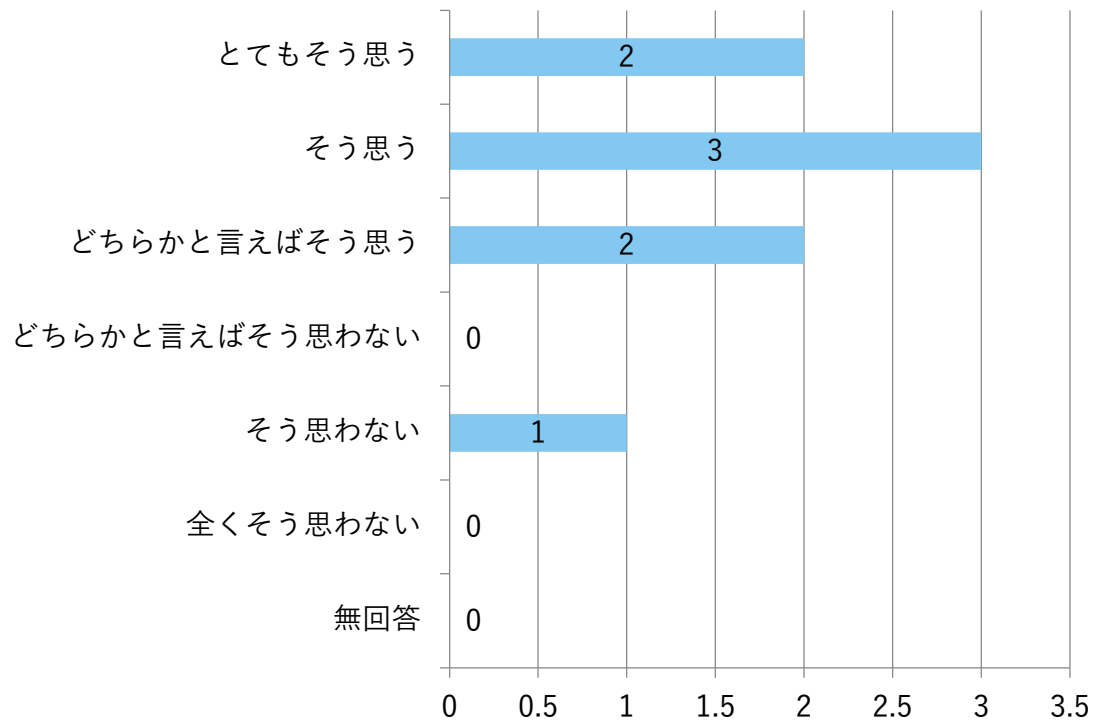
医療・医学に関わる倫理観が身についている



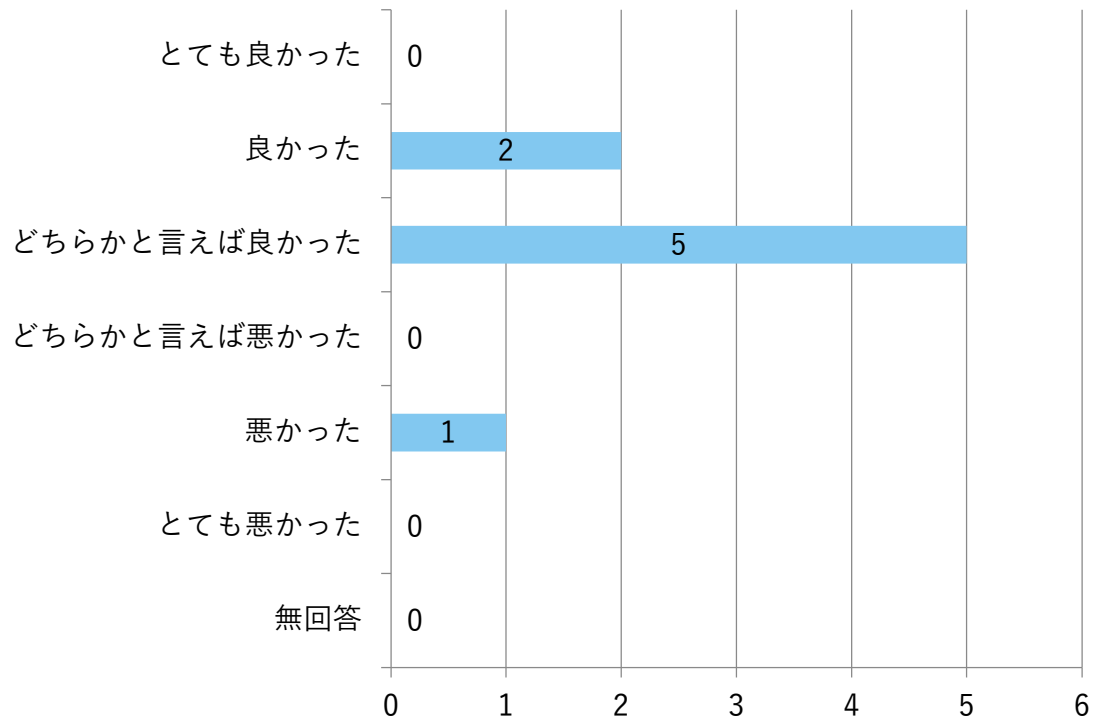
多様な価値観を理解して個々人を尊重できる、医療人としての
豊かな感性と人間性が身についている



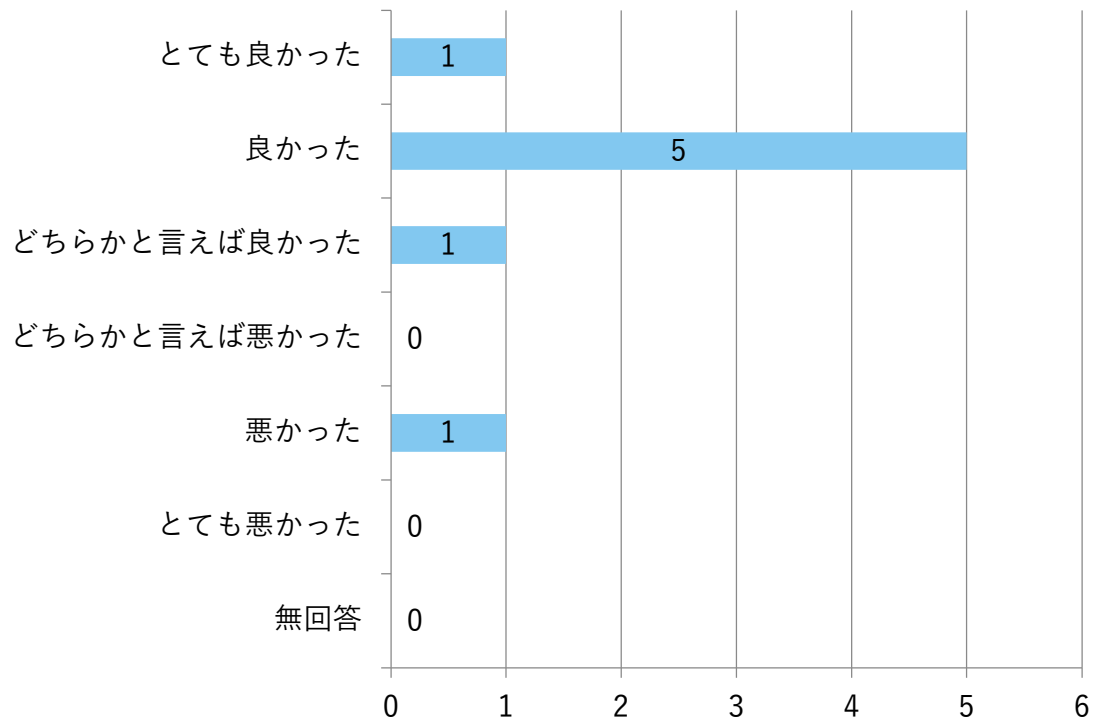
物事を多面的に捉えられる幅広い教養が身についている



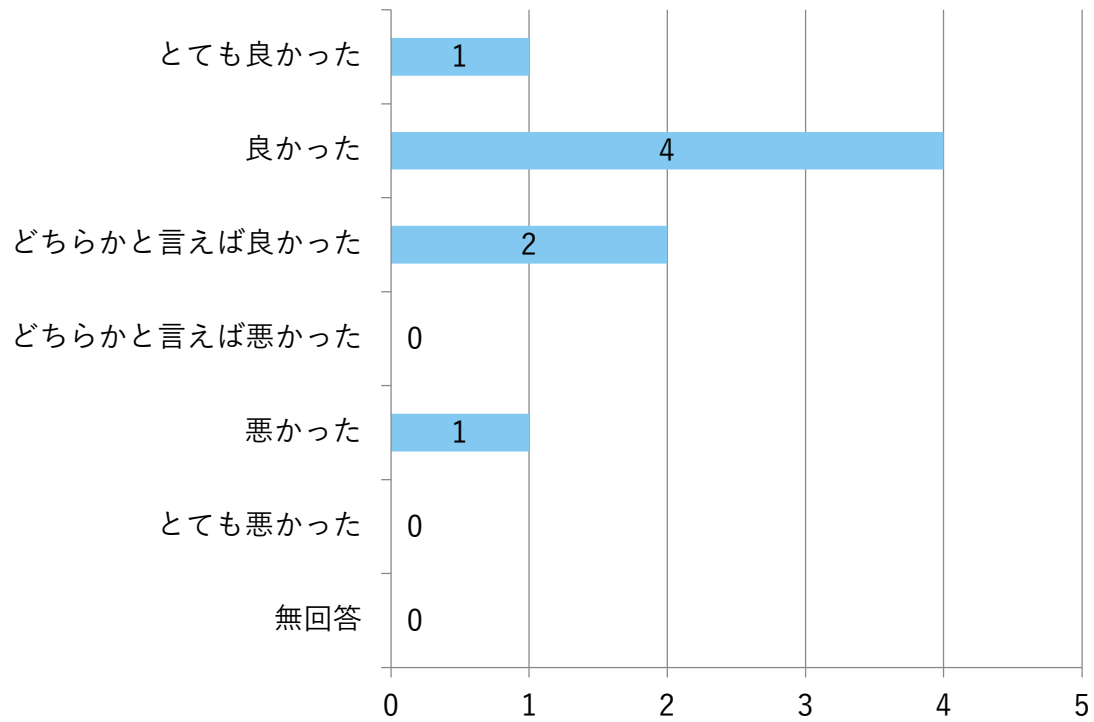
教養部の教育の総合評価



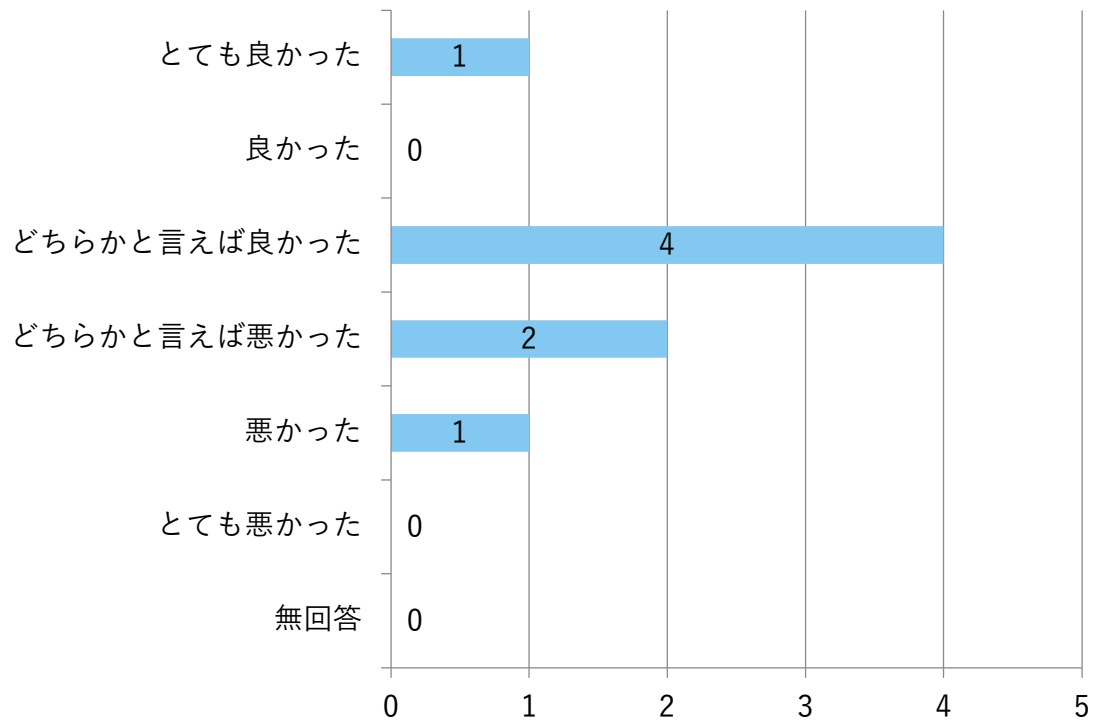
専門科目の講義の総合評価



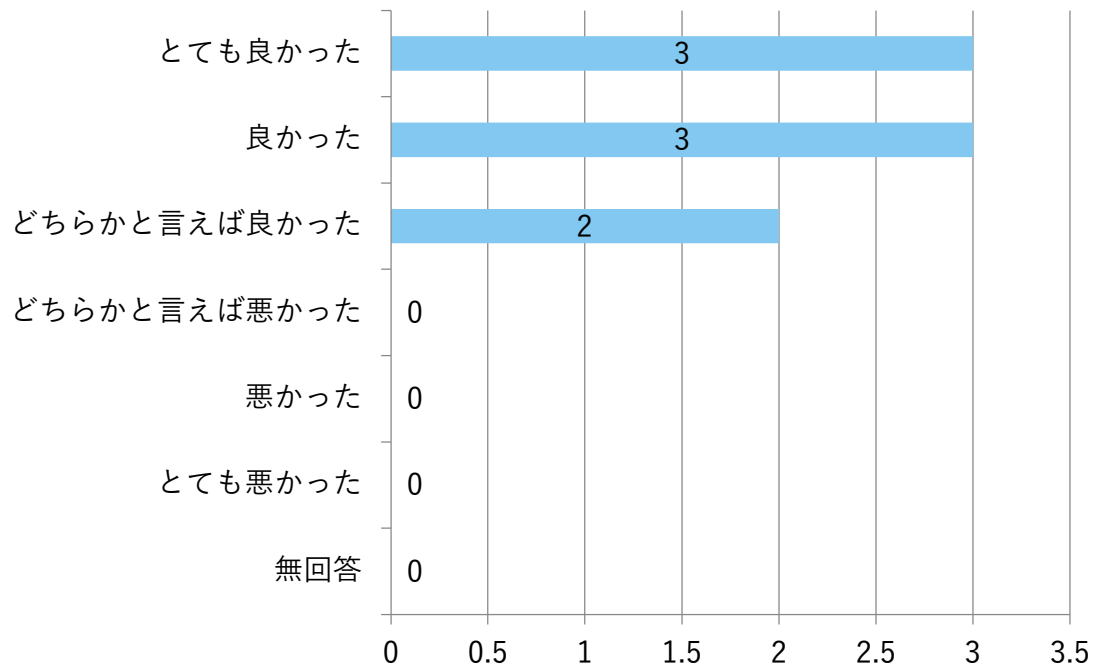
専門科目の実習・演習の総合評価



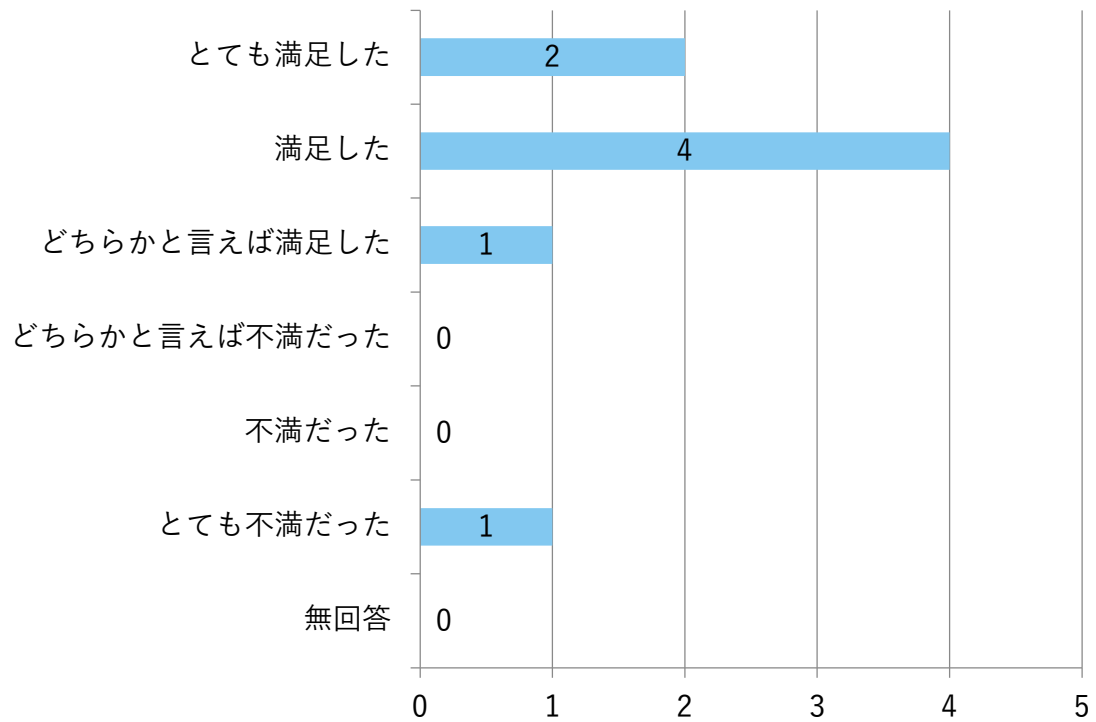
チーム医療入門の総合評価



検査技術学を学習する教育機関として本学を選んだのは良かったか悪かったか



本学での学生生活における満足度はどれくらいでしたか



【本学を選んで良かった点や学生生活で満足した点】

- ・ 専門科目でも自由選択があり、自分の興味があることをしっかり学べたおかげで更に自己学習につなげることができたこと。また、部活動にも参加できる時間をもてたことで、卒後必要な体力をつけることができたこと。かつ他の医療職に進む仲間との交流により異業種を尊重する気持ちを持てたこと。
- ・ 自分次第で、最新の研究に触れる機会があるところ。
- ・ 教養部で理系科目以外の専門的な学問に触れられた点。

実際の症例を交えた授業。

- ・ 少人数であること、立地の良さ、グローバル思考
- ・ 設備や研究内容が国内でもハイクラスの品質であり、それらの揃った最先端の環境で学べたこと。国内ハイクラスの病院や企業に OB・OG が多いので、進路を考えるにあたって情報を得やすかったこと。

【本学を選んで悪かった点や学生生活で不満だった点】

- ・ コロナ期に、オンライン授業のすぐ後に対面授業があると、学内のどこでオンライン授業を受けたらいいか迷うことがあった。
- ・ 検査技師としての人生を過ごすのであれば、特に医科歯科に行く必要性はない。
- ・ 教養部の授業はとても有意義だったが、専門科目に触れない期間が長く、専門職を目指す意欲が多少削がれた点。
- ・ 教務の不誠実さ
- ・ 他職種との連携を学ぶ機会が少なく、理解があまり深められなかったように感じました。

私たちの代は新型コロナウイルスの影響で臨地実習の内容がかなり縮小されたので、やむを得ない事情ではありますが、臨床現場で行われる実践的な検査の様子をもう少し体感したかったです。

【後輩に伝えたいメッセージ】

- ・ 学ぶ意欲があれば、先生方はそれに協力してくれるので、色々な人を頼って相談して自分の興味を突き詰めていってほしいです。
- ・ 臨床検査は日々目まぐるしく進歩しており、自分の教科書の内容がもう古い、ということが卒後 3 年の時点でも既に起こっています。生涯学習が必要な仕事ですので、ぜひ学生のうちに講義・実習の内容に関心を持ち、能動的に調べたり考えたりする習慣を身につけることをおすすめします。